

中国思想

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
中国思想概論	中国思想史概説1:南北朝 まで	2	渡部 東一郎	3	木曜3限
中国思想概論	中国思想史概説 2:隋唐 以後	2	齋藤 智寛	4	火曜1限
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級1	2	齋藤 智寛	3	火曜1限
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級2	2	渡部 東一郎	4	木曜3限
中国思想各論	中国中世の思想	2	齋藤 智寛	5	水曜4限
中国思想各論	明代儒教思想の研究	2	講師(非)	6	集中講義
中国思想演習	中国経学文献精読	2	齋藤 智寛	5	月曜2限
中国思想演習	中国知識人思想資料精読	2	齋藤 智寛	6	月曜2限

科目名：中国思想概論

曜日・講時：木曜 3 限

セメスター：3 **単位数：**2.00 単位

担当教員：渡部 東一郎

コード：LB34301, **科目ナンバリング：**LHM-PHI202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国思想史概説 1：南北朝まで

2・授業の目的と概要：多様な思想が開花した春秋・戦国時代に始まり、秦・漢王朝による学術の統一を経て、仏教に対する理解の進展と道教の確立によって儒・仏・道三教が出揃い、受容や対立の様相を呈した南北朝時代までの中国思想史を概説する。

3. 学習の到達目標：春秋・戦国時代から南北朝時代に至る、諸思想の内容と史的展開について理解することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

〔授業内容・方法〕

各回のテーマについて配布資料を元に解説していく。

〔進度予定〕

1. 導入
2. 春秋・戦国 1：『論語』に見る孔子の思想
3. 春秋・戦国 2：『老子』と『莊子』の思想
4. 春秋・戦国 3：『墨子』の思想
5. 春秋・戦国 4：『孟子』と『荀子』の思想
6. 春秋・戦国 5：『韓非子』の思想とその他の諸子百家の思想
7. 前漢 1：漢初の思想
8. 前漢 2：『淮南子』と董仲舒の思想
9. 後漢 1：桓譚『新論』と王充『論衡』の思想
10. 後漢 2：儒教經典の整理と政治思想について
11. 魏晉 1：魏晉の玄学 1
12. 魏晉 2：魏晉の玄学 2
13. 南北朝 1：南朝梁の学術と思想
14. 南北朝 2：南北朝時代の仏教と道教 1
15. 南北朝 3：南北朝時代の仏教と道教 2

5. 成績評価方法：中間レポート(50%)、期末レポート(50%)。

6. 教科書および参考書：毎回の授業始めにプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。

7. 授業時間外学習：配布プリントを読み直すとともに、紹介した参考書を積極的に読み、レポート作成に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国思想概論

曜日・講時：火曜 1 限

セメスター：4 **単位数：**2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB42101, **科目ナンバリング：**LHM-PHI202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国思想史概説 2：隋唐以後

2・授業の目的と概要：7 世紀以後、20 世紀までの中国思想史を概観する。仏教と道教の隆盛を経て儒家思想の再生がなされた隋唐時代に始まり、朱子学と陽明学、考証学を高峰とする近世の思想、西洋思想との接触により伝統の再編がなされた近現代の思想について、原典の日本語訳を材料に解説する。

3. 学習の到達目標：中国隋唐時代（7 世紀）から近現代に至る、諸思想の内容と史的展開について理解することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

各回のテーマについて配布資料を元に解説する。[進度予定]

1. 導入
2. 唐代初期の思想と学術
3. 中晩唐士大夫の思想 1
4. 中晩唐士大夫の思想 2
5. 隋唐時代の仏教と道教
6. 北宋の思想
7. 朱熹と朱子学の思想
8. 両宋期の仏教と道教
9. 金元の思想と宗教
10. 王守仁と陽明学の思想
11. 明末の思想
12. 清朝の思想と学術
13. 中国近代の思想
14. 20 世紀後半の中国語圏における思想と学術
15. まとめ

5. 成績評価方法：中間レポートまたは小テスト(50%)、期末レポート(50%)

6. 教科書および参考書：毎回の授業でプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。

7. 授業時間外学習：紹介された参考書は出来るだけ読むこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想基礎講読

曜日・講時：火曜 1 限

セメスター：3 単位数：2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB32101, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国思考文献購読・初級 1

2・授業の目的と概要：句読点と訓点が施された中国思想文献を読む。漢文の基本的な語法に習熟すると共に、思想文献特有の思惟方法や表現形式に慣れるのが目的である。テキストとしては、日本の幕末明治の学者・安井息軒による『孟子定本』を予定している。

3. 学習の到達目標：訓点を頼りに中国思想に関する漢文文献を読むことができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 漢文基礎文法 1
3. 漢文基礎文法 2
4. 漢文基礎文法 3
5. 『孟子定本』読解 1
6. 『孟子定本』読解 2
7. 『孟子定本』読解 3
8. 『孟子定本』読解 4
9. 『孟子定本』読解 5
10. 『孟子定本』読解 6
11. 『孟子定本』読解 7
12. 『孟子定本』読解 8
13. 『孟子定本』読解 9
14. 『孟子定本』読解 10
15. 『孟子定本』読解 11

5. 成績評価方法：予習状況と討論での発言状況（100%）

6. 教科書および参考書：教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

7. 授業時間外学習：辞書を引き、訓読と現代日本語訳を準備すること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想基礎講読

曜日・講時：木曜 3 限

セメスター：4 **単位数：**2.00 単位

担当教員：渡部 東一郎

コード：LB44301, **科目ナンバリング：**LHM-PHI209J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 2

2・授業の目的と概要：孟子の性善説に対して性悪説を主張したことで知られる、戦国末期の儒者、荀況の『荀子』から天論篇を取り上げ、輪読していく。読解作業を通して思想系の文献に特徴的な思维方式や表現形式に慣れるとともに、中国古典文全般に対する基礎的読解力を培う。

3. 学習の到達目標：思想系の文献に特徴的な思维方式や表現形式に慣れるとともに、中国古典文全般に対する基礎的読解力を向上させることができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

〔授業内容・方法〕

授業は、あらかじめ割り当てられた範囲について担当者が訓読と現代語訳、注解を発表し、それを全員で討論する形で進める。

〔進度予定〕

1. 導入
2. 『荀子』天論篇 読解 1
3. 『荀子』天論篇 読解 2
4. 『荀子』天論篇 読解 3
5. 『荀子』天論篇 読解 4
6. 『荀子』天論篇 読解 5
7. 『荀子』天論篇 読解 6
8. 『荀子』天論篇 読解 7
9. 『荀子』天論篇 読解 8
10. 『荀子』天論篇 読解 9
11. 『荀子』天論篇 読解 1 0
12. 『荀子』天論篇 読解 1 1
13. 『荀子』天論篇 読解 1 2
14. 『荀子』天論篇 読解 1 3
15. 『荀子』天論篇 読解 1 4

5. 成績評価方法：発表の内容(50%)、討論への参加度(50%)。

6. 教科書および参考書：初回授業時にプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。

7. 授業時間外学習：発表担当者でなくとも、辞書等で調べ、訓読と現代日本語訳を準備した上で授業に臨むこと。また、授業後に十分な復習を行うこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想各論

曜日・講時：水曜 4 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB53401, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国中世倫理思想史

2・授業の目的と概要：中国中世思想における倫理思想を、思想史の方法により考察、紹介する。扱う話題は、五常や孝といった儒家の徳目をめぐる議論のほか、宗教と倫理、歴史と倫理、医療と倫理などである。

3. 学習の到達目標：中国中世の倫理思想について初歩的な知識と理解を得る

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 導入
2. 魏晋期の倫理思想 1
3. 魏晋期の倫理思想 2
4. 魏晋期の倫理思想 3
5. 南北朝時代の倫理思想 1
6. 南北朝時代の倫理思想 2
7. 南北朝時代の倫理思想 3
8. 隋～唐代前半期の倫理思想
9. 唐代前半期の倫理思想 2
10. 唐代前半期の倫理思想 3
11. 唐代前半期の倫理思想 4
12. 唐代後半期の倫理思想 1
13. 唐代後半期の倫理思想 2
14. 唐代後半期の倫理思想 3
15. 総括

5. 成績評価方法：レポート(100%)

6. 教科書および参考書：参考書を講義の中で紹介する。

7. 授業時間外学習：講義中に紹介された参考書は出来るだけ読むこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想各論

曜日・講時：集中講義

セメスター：6 **単位数：**2.00 単位

担当教員：講師（非）

コード：LB98822, **科目ナンバリング：**LHM-PHI302J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：明代儒教思想の研究—陽明学・科举・書院—

2・授業の目的と概要：本講義の目的は、陽明学と明代の科举制度、並びに書院制度との関係を考究することを通じて、明代儒教思想の特質を従来の研究とは異なる視点から解説することにある。そして、科举制度・書院制度から、明代の儒教・陽明学を考察するとどういったことが見えてくるのか、また、儒教・陽明学の視点から明代の科举・書院を分析すると何が見えてくるのか、という問題について受講生に考えてもらうことを目指している。講義では、最初に陽明学を中心とする明代思想史を概観する。その後、まずは、科举が明代の読書人の朱子学的教養の形成過程にいかに関与していたかを解説し、陽明学成立の背景と科举との関係について考察する。次いで、明中期以降に陽明学が一世を風靡するようになった状況を解説し、陽明学発展の舞台としての書院の役割について考察する。そして、最後に、陽明学、科举、書院の関係に留意しながら、明代儒教思想史の特色についてまとめる。

3. 学習の到達目標：受講生が、中国近世思想史における明代儒教思想の独自性について興味をもち、明代儒教思想を代表する思想学説である陽明学の成立と発展において、科举制度と書院制度がいかなる影響を与えたのかという問題について理解を深め、明代思想史研究の新たな視点を学び取ることを目標とする。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第一回 はじめに—明代儒教史概観—
- 第二回 明代の科举制度と朱子学
- 第三回 明代の科举制度と経学（1）
- 第四回 明代の科举制度と経学（2）
- 第五回 明代の科举と陽明学（1）
- 第六回 明代の科举と陽明学（2）
- 第七回 明代における書院の盛衰と講学
- 第八回 明代の白鹿洞書院と陽明学
- 第九回 王守仁の思想活動と書院
- 第十回 陽明後学の講学活動と書院（1）
- 第十一回 陽明後学の講学活動と書院（2）
- 第十二回 陽明後学の講学活動と書院（3）
- 第十三回 東林学派の陽明学への対応
- 第十四回 明代思想史における科举制度と書院制度
- 第十五回 まとめと考察

5. 成績評価方法：成績は平常点（20 パーセント）とレポートの内容（80 パーセント）を総合して評価します。

6. 教科書および参考書：教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。

7. 授業時間外学習：授業時間外の学修については、授業の中で適宜指示致します。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想演習

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB51204, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語、中国語

1. 授業題目：中国経学文献精読

2・授業の目的と概要：康有為（1858-1927）撰『礼運注』を会読する。中国近代思想の文脈における経書注釈を題材に、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

3. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳を作成できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『礼運注』会読 1
- 3、『礼運注』会読 2
- 4、『礼運注』会読 3
- 5、『礼運注』会読 4
- 6、『礼運注』会読 5
- 7、『礼運注』会読 6
- 8、『礼運注』会読 7
- 9、『礼運注』会読 8
- 10、『礼運注』会読 9
- 11、『礼運注』会読 10
- 12、『礼運注』会読 11
- 13、『礼運注』会読 12
- 14、『礼運注』会読 13
- 15、まとめ

5. 成績評価方法：発表と討論での発言状況（100%）

6. 教科書および参考書：教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。

7. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：中国思想演習

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB61203, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語、中国語

1. 授業題目：中国知識人思想資料精読

2・授業の目的と概要：梁・蕭統（501-531）の編『文選』より、思想史関連文献を選読する。『文選』本文と六臣注の読解を通して、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

3. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳を作成できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『文選』会読 1
- 3、『文選』会読 2
- 4、『文選』会読 3
- 5、『文選』会読 4
- 6、『文選』会読 5
- 7、『文選』会読 6
- 8、『文選』会読 7
- 9、『文選』会読 8
- 10、『文選』会読 9
- 11、『文選』会読 10
- 12、『文選』会読 11
- 13、『文選』会読 12
- 14、『文選』会読 13
- 15、まとめ

5. 成績評価方法：発表と討論での発言状況（100%）

6. 教科書および参考書：教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。

7. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：